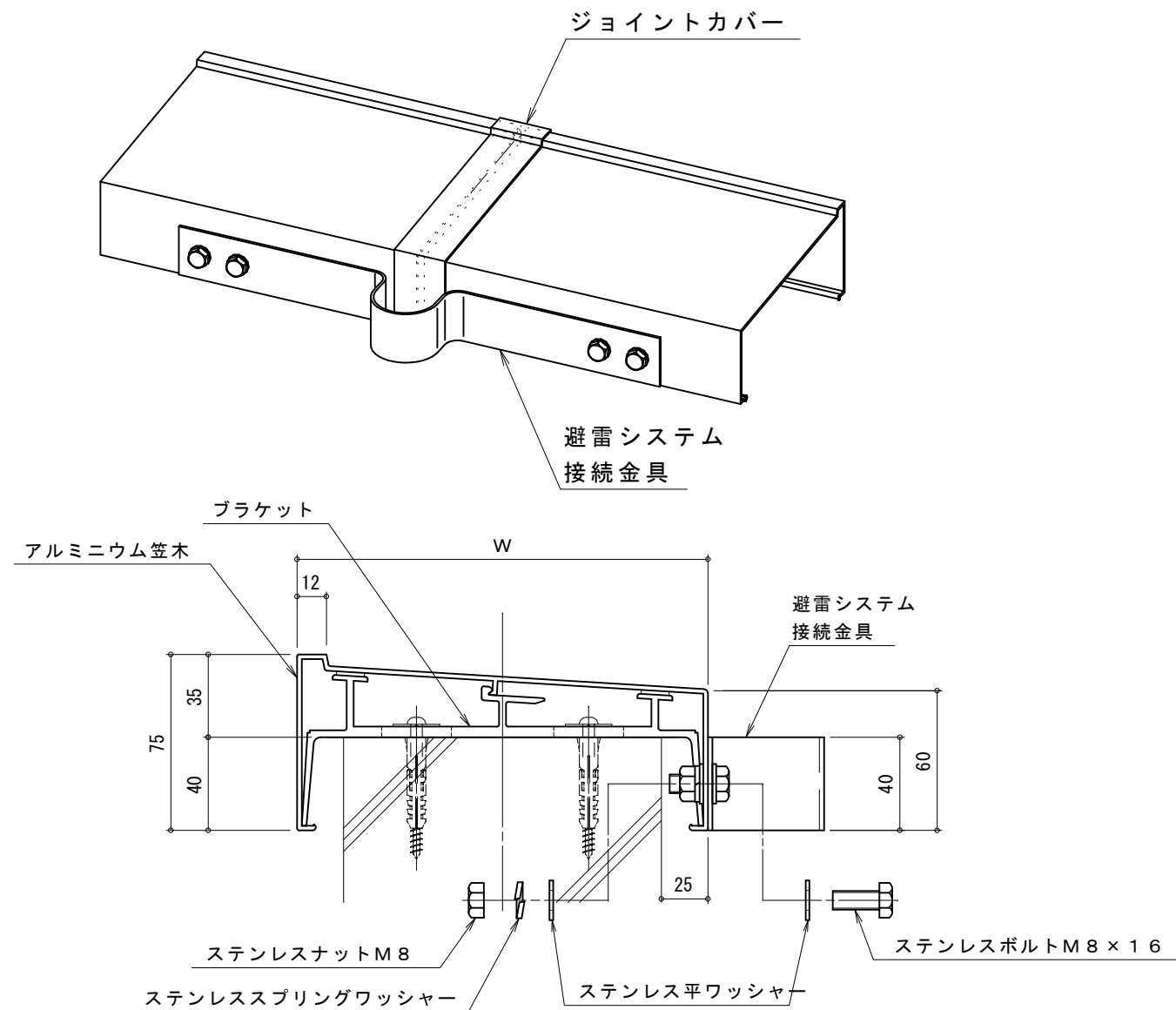
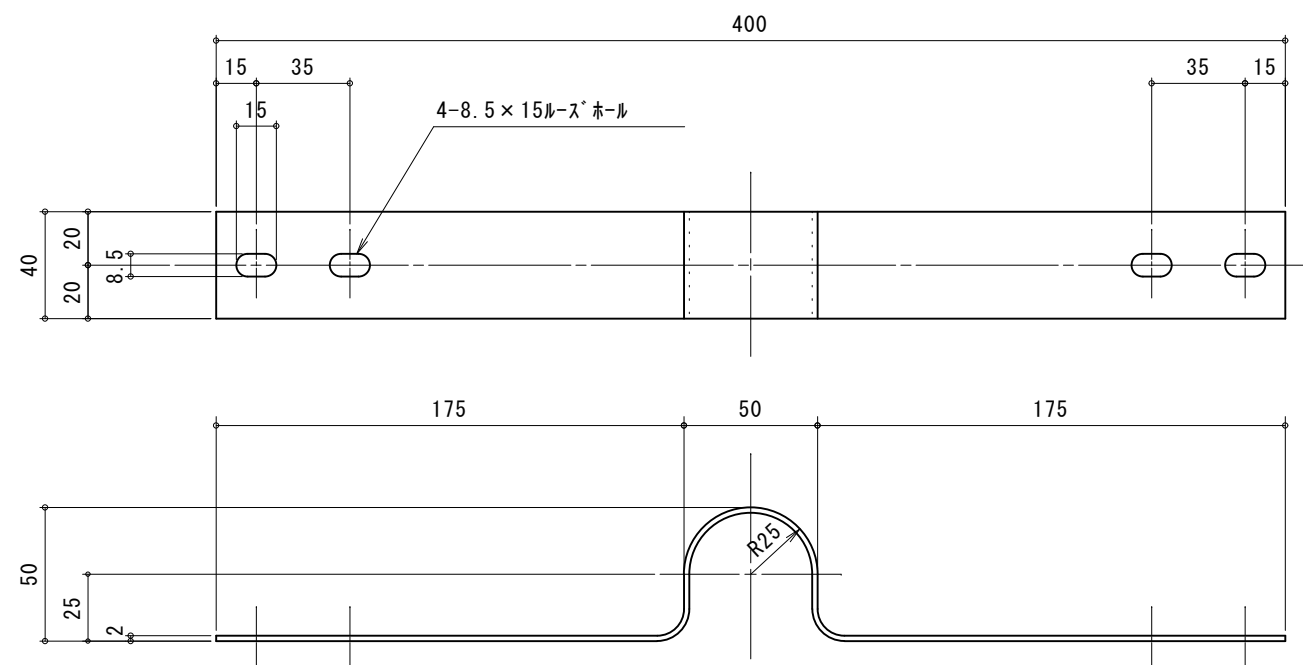


直線用避雷システム接続金具

材質：アルミニウム



受雷部システム（棟上導体）としてアルミニウム笠木を利用する場合、その建物が避雷設備について、JIS Z 9290—3：2019による以下要件を満たしていること。

1. 構造体利用構成部材について

- ・雷放電によって穴があいても差し支えない構造の場合、又は金属板の下部に着火する可燃物がない場合、笠木肉厚は0.65mm以上とする。

（注）「着火する可燃物」とは、次のもの以外の材料をいう。

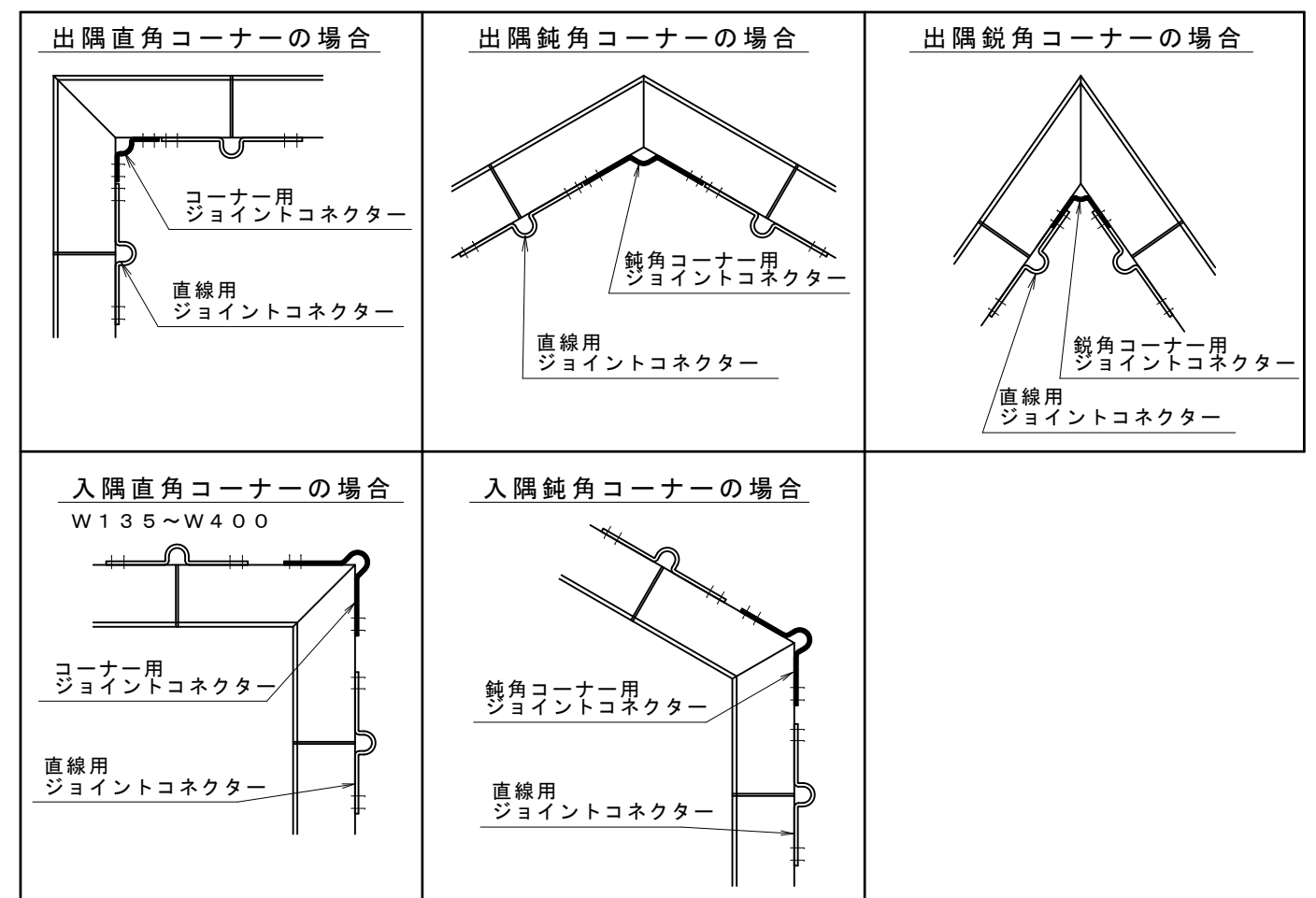
- a・建築基準法第2条第九号で定める不燃材料又はこれと同等以上のもの。
- b・建築基準法施行令第1条第五号で定める準不燃材料又はこれと同等以上のもの。
- c・建築基準法施行令第1条第六号で定める難燃材料又はこれと同等以上のもの。

（社）電気設備学会『建築物等の雷保護Q & A』による）

2. 材料及び寸法について

- ①断面積はアルミニウム合金の場合は50mm²以上あること。
- ②笠木の締結に際し、通常の表面処理仕様製品では、
 - イ）「塗膜を剥がして通電性グリースを塗った上で締結する」ことは不要である。
 - ロ）接着加工したコーナー部材を使用する際は、新規コーナー用ジョイントコネクタ一等を採用し、ボルトまたはねじにより堅固に締めつける。

3. ジョイントコネクタの接続参考図



施工上の注意

- ①金具の接続は必ず指定のボルト、ナットで固定して下さい。
- ②引下げ導線と笠木の接続は、必ず電設業者等専門施工者の施工をお願いします。

名 称

アルミ標準笠木 トライコーピングTC・HCタイプ 避雷システム ジョイント詳細

縮 尺

1/2

品 番

HC—K